

脚 本 名	空の伝言
作 者 名	向井 瞬
上 演 学 校 名	県立秦野高等学校
あ ら す じ	地球の皆さんこんにちは！ 毎度おなじみ、本日も火星からお届けしています。今回も張り切ってやっていきたいと思います。おたよりは随時募集しているので、聞いている方はじゃんじゃん送ってきてくださいね！
作 者 連 絡 先	dreamfactory132@gmail.com（向井瞬あて）
備 考	第 60 回大会

空の伝言

作・向井

瞬

登場人物

大橋 おおはし
未来 みらい

(生存者 女)

トルテ

(サポート型ヒューマノイド)

火星にある地下シェルター内。

未来が通信をしている。

未来

……はい。というわけでね。始まりましたけれども。……えー、改めまして地球の皆さんこんにちは。……こんばんはかな？ そちらが何時くらいなのかちょっとわかりませんが。こちらはお昼の二時を過ぎたくらい。本日も火星にあります第七シェルターターミナルブリッジからお届けしています。短い時間ですがぜひお付き合いください。

……えー、ではまずおたよりから行きたいと思います。七丁目にお住まいの、ペンネームライミーさんから。「未来さんこんにちは。」はいこんにちはー。「未来さんは火星にお住まいとのことですが、地球と火星で違うのはどんなところでしょうか。」

……あーなるほど。そこはきっと気になりますよねー。一番違うのはたぶん、全部シェルターの中で完結してることじゃないですかね。シェルターの外はまだ人が住める環境じゃないので、外に出たことは一度もないです。ただシェルターって言うのもものすごく広いので、窮屈とか思ったことはないですね。シェルターの中にさらに

家があつてそこに住んでるんですけど、家の外だと上に空の映像が投射されてるんです。見かけ上はほんとに外みたいに見えるから、シエルターの中っていうのを普段は全然意識してないですね。だからまあ、実際地球とそんなに変わらないと思います。あとは……なんだろう。正直地球のことあんまり覚えてないから何が違うのかもわからないかも。

私ももともとは地球に住んでたんですけど、五年前に火星に来たんですね。火星開拓移民？ とかいうやつで。たぶん地球が狭くなってきたから、火星に人が住めるように開発してるみたいなことだと思います。要するに工事関係者の家族ってことですね。基本的には火星に住んでる人はみんなそうです。みんな……うん。そうですね。みんな……いや、みんなっていうか……今火星にいるの、私一人なんですけど。

暗転。

2

未来の家。

トルテが座っている。

未来 お母さーん。……いないのー？

未来が入ってきてトルテに気づく。

未来 ……誰？

トルテ 勝手にお邪魔して申し訳ありません。大橋未来様でお間違いありませんか？

未来 そうだけど……。

トルテ 申し遅れました。私は第三世代人工知能搭載サポート型ヒューマノイドRBOO10、
個体通称はトルテと申します。

未来 ……知ってる。この地区の担当ロボットでしょ。

トルテ ご存じでしたか。お見知りいただいて光栄です。

未来 カナちゃん家に行く時によく見かけるから。

トルテ なるほど。確かにこの家から行くと私の巡回路と当たりますね。

未来 で、なんでここに居るの？ お母さんは？

トルテ ……その前に、体調はもうよろしいのですか？

未来 ……まあ。きのう一日寝てたから。

トルテ それは結構なことです。

未来 なんなの？

トルテ 未来様は昨日何があつたか覚えていらつしやいますか？

未来 お祭りでしょ。五周年の。

トルテ そうです。火星への移民が始まって五年。記念日である昨日は火星中の住民が集まっ

て盛大なイベントが開かれました。

未来 それ寝込んで行けなかった私に対する嫌味？

トルテ もちろんそんなことはありません。それどころか、行かなかったことが幸運だったと

いう言い方さえできます。

未来 ……どういうこと？

トルテ ……昨日、イベントが行われていた第一シエルターで事故が起きました。

未来 え？

トルテ 化学災害です。致死性の極めて高い有毒物質が流出したのです。

未来 何、それ……。

トルテ ここ火星では、住環境の整備だけでなく地球上では実施しづらい実験や研究も行われ
ています。今回はそのような研究中の有毒ガスが何らかの原因で漏れ出てしまったの

だと考えられます。

未来 嘘、だよな？

トルテ 確かに私は場合によっては嘘を言うこともできますが、このような話を冗談で言うことはできません。

未来 ……お母さんは？ 将太^{しやうた}は？ お父さんは？

トルテ お三方とも生存は確認できていますが、無事、というわけではありません。

未来 どういう意味？

トルテ 会場にいた方は全員ガスを吸ってしまいました。先ほども申し上げたとおり研究の物質なので、現在有効な治療法が無いのです。意識のあった方はみな冷凍睡眠装置に入りました。体を冬眠状態にして、将来研究が進んで治療の手段ができる可能性に賭けたのです。

未来 意識のあった人は、つて……。

トルテ 残念ながら命を落としてしまった方もいらっしゃいます。毒性物質の回りが非常に速かったのです。未来様のご家族がこちらに連絡を入れる余裕も無かったと思われる。

未来 そんな……。

トルテ ここ第七シェルターは現在他のシェルターとの経路を完全に遮断しています。有毒ガスがここに到達することは無いのでご安心ください。

未来 ……。

トルテ 発電設備や水道、食料などのインフラは平常通り稼働しています。未来様が生活していく上で、物質的な面での問題は特に無いと考えられます。

未来 ……ちょっと待って。

トルテ なんでしょうか。

未来 私以外の無事な人は？

トルテ ……昨日のイベントには、文字通り火星中の住民が集まっていました。体調を崩して出られなかったあなたを除いて。

未来 ……。

トルテ 今この火星上で無事にいる人類は、大橋未来様、あなた一人だけなのです。

未来 ……なんで……。

未来、うなだれる。

間。

未来 ……冷凍睡眠はいつ解けるの？

トルテ わかりません。流出した有害物質については引き続きコンピューターが解析を進めて

いますが、専門家がない状況ではどうしても時間がかかります。我々コンピュータには、やはり人の力が必要なのです。

未来 じゃあ私も冬眠する。

トルテ 申し訳ありません。第七シエルターには冷凍睡眠装置が無いのです。ここは居住用に設計されているので、そういった特殊な設備を設けていないのです。

未来 ……。

トルテ ただ……冷凍睡眠の期間を短くする方法に一つだけ心当たりがあります。

未来 ……え？

トルテ ついてきていただけますか？ 見ていただきたいものがあります。

二人、歩きながら話をする。

トルテ 先ほど申し上げましたとおり、専門家がない状況では治療法の研究にかなりの時間が必要です。おそらく何十年という単位……あるいはそれ以上の時間が。

未来 ……。

トルテ しかし、逆に言えば専門家がいればその時間を大きく短縮させることができるということです。

未来 でも、誰もいないんでしょ？

トルテ その通りです。

未来 だったら……。

トルテ 着きました。

未来 ……ここは？

トルテ 第七シエルターターミナルブリッジ。このシエルターの通信管理を行う設備です。

未来 通信……。

トルテ 未来様。地球に連絡をして、専門家に来てもらいましょう。

未来 できるの!? そんなこと……。

トルテ おそらくは。

未来 おそらくって……。

トルテ 本来地球との交信は第一シエルターにある施設で行いますが、現在そちらに行くことはできません。第一シエルターにもヒューマノイドはいますが、ヒューマノイドには地球への通信を送る権限が無いのでそれも期待できません。

未来 ここなら通信ができるの？

トルテ この設備は第一シエルターのものとは違って火星内での通信を目的としたものです。使える帯域も出力も限られています。計算上はぎりぎり地球まで届くはずですが。

未来 じゃあ……。

トルテ 地球との交信ができれば研究時間の大幅な短縮、あるいは別の救助方法が見つかることもあるかもしれません。未来様。不確定ではありますが、この可能性に賭けてみませんか。

未来 やり方教えて。

未来、通信装置の前に座る。

トルテ、機械を操作する。

トルテ この状態でマイクに話しかければ音声情報がそのまま送信されます。電力は安定供給されていますので、入力状態を保ったまま長く喋っていただいても大丈夫です。

未来 ……こちらは火星です。きのう大きな事故が起こって住民が危険な状態にあります。……地球の皆さんの助けが必要なんです。私一人じゃ何もできなくて……。お願いです。この声が聞こえたら答えてください。……みんなを助けてください。お母さんを……。一人なんて無理だよ。……お願い。助けて。……誰でもいいから。……誰か……。誰か助けて。……助けて……。誰か！

暗転。

3

第七シエルターターミナルブリッジ。

通信機の前に未来がだらしなく座っている。

未来

……はい、今日も火星からお送りしてまーす。聞こえていますかー？ って返事来たことないですけど。もう何回目ですかねこれ。人間どんな状況に置かれても時間が経つと慣れていくんだなーって改めて思いました。最近ちょっとやけくそになってる自分がいます。

気を取り直して今日はこのコーナーから参りましょう。「爆笑王への道」。……はい、新コーナーです。面白いネタを紹介して、その面白さを十点満点で評価していきます。笑いのセンスを磨いて爆笑王を目指しましょう、っていう感じのコーナーです。こういう見えて私は笑いにはうるさいですからね。評価は結構辛めになると思いますよ。

えー、では早速おたよりを読んでいきます。七丁目にお住まいのペンネームおはし愛

好家さん。「牛が笑ったウツシッシ。」……あー、ダジャレですか。こういう単純なのはイマイチですね。一点で。……続いてペンネームビッグブリッジさん。「この前夜に暗い道を歩いていたら、ちょっと先のところに白い服を着た知らない女の人がいたんです。近所には知ってる人しかいないはずなので幽霊かと思ってドキドキしましたが、よく見たら自動販売機でした。」……ふふつ。あるあるですね。夜の自販機ってちょっとびびくりしますよね。えー、じゃあ六点で。最初ちょっと怖い話かなって思わせるところがニクいですね。そういえば前に火星のシエルターの中には空の映像が映ってるって話をしたと思いますけど、夜になると空が暗くなるんですよね。火星も夜は暗いわけです。幽霊は……火星にもいるんですかね？ わかんないですけど。

話している最中にトルテが入ってくるが、未来は気づかない。

未来

続いて。七丁目にお住まいの、ペンネームフューチャーさん。お、これは力作な予感がしますね。「未来さんこんにちは。」はいこんにちはー。「この前面白いことがあったので投稿します。」ふむふむ。「私は乗り物が好きで、古い乗り物の本などもたくさん持っています。よくそういった写真を眺めては乗り心地を想像したりしています。ある日ドラマを見ていたらヘリコプターが出てくるシーンがありました。動いている

映像で見るのは初めてだったのでつい興奮してしまい、『あ、ヘコリプター！』と叫んでしまいました。口に出してから言い間違いに気づいて爆笑しまし」ふふ、んっふっふあははは！（大笑い）……はー。いやー、これは面白いですね。ヘコリプターて。なかなかそんな間違え方しないですね。文句なしの十点です。

……火星は乗り物ってほとんど無いんですね。だから地球の乗り物……特に空を飛ばやつなんかは一度乗ってみたいんですね。ヘコリプターとか（笑）。まあ火星に来る時にはもちろん宇宙船に乗ってるわけですけど、正直規模が大きすぎて乗り物って感じじゃなかったですね。外の景色とかも映像でしか見れないし。やっぱり乗り物って動いてる景色を直接見れるのが醍醐味じゃないですか。宇宙船も窓とかあればわーって……。

未来、トルテに気づく。

トルテ どうぞ。私に構わず続けてください。

未来 ……いつからいたの？

トルテ フューチャーさんの話が始まる前くらいですね。

未来 言ってよ！

トルテ 声を掛けると通信に私の音声に乗ってしまうので、それを避けようと思ったのですが。

未来 そんなの気にしなくていいから。

トルテ わかりました。次からは声を掛けるようにします。

未来 もー。

トルテ それにしても通信の内容がずいぶん様変わりしましたね。その、なんというか……個性的な救難信号ですね。

未来 いや私だって最初はもっとカチツとした感じでやってたよ？ でも毎日助けて助けて言ったら頭おかしくなりそうでき。

トルテ それはそうでしょうね。

未来 だからちよつと、ユーモアっていうか。そういうのを入れてみようかなって。

トルテ はあ……。

未来 聞いてくれた人が面白いな、どんな人かなって興味持ってくれるじゃない？ そしたら助けてって話をした時に助けようって気持ちになるでしょ。

トルテ なるほど。

未来 誰に届くかわからないし、届いた人が行動してくれないと意味ないわけ。宇宙を越えて助けに来てもらわないといけないんだから。

トルテ ……しかしわからないことがあるのですが。

未来 何？

トルテ 地球からの通信は未だに来ていないのですよね。

未来 そりゃそうだよ。だから毎日毎日こうやって……。

トルテ フューチャーさんとはいったい何者なのでしょうか。

未来 え？

トルテ 先ほど未来さんはフューチャーさんの投稿を読みました。地球からの通信が無い

のであればあれはいったい……もしや火星に生存者がいたのですか？

未来 いや、そういうわけじゃ……。

トルテ しかしそれでは説明がつきません。地球でも火星でもないならフューチャーさんはど

こから通信をしているのですか？

未来 ……もしかしてそれわざと聞いているの？

トルテ どういう意味ですか？

未来 ……私。

トルテ え？

未来 私。フューチャーさん。

トルテ ……まさか自分で自分に手紙を書いたのですか？

未来 ……まあ。

トルテ 自分が書いた手紙をさも他人が書いたかのように紹介して点数をつけていたのですか？

未来 あんたやっぱりわかっててわざと言っててるでしょ！

トルテ すみません。少々理解の範疇を超えていたので真面目に質問してしまいました。

未来 それケンカ売ってるようにしか聞こえないからね。

トルテ そのようなつもりは無いのですが……。しかし改めて全て一人で作っていると考えると非常に緻密に構成されていることがわかります。未来さんは創作がお上手なのですね。

未来 いやそういうのいいから。

トルテ 地球の人たちが聞いたら大爆笑間違いなしですね。

未来 やめてってば！

トルテ 褒めているつもりなのですが。

未来 余計たち悪いわ。

トルテ ……言語を使って意思を正確に伝えるのは難しいですね。

未来 人は言葉通りの意味だけで話してるわけじゃないから。褒めたつもりがけなしてたり言葉とは反対の意味でとられたり、そういうのも含めて空気読まないといけないわけ。

トルテ 勉強になります。

未来 そんなんで今までよくやってこれたね。

トルテ このようにコミュニケーションをとることはほとんどありませんでしたので。

未来 そうなの？

トルテ 我々サポート型ヒューマノイドは問題が起こった時にサポートするのが役目ですが、

ここではそもそもトラブルが少ないのです。火星は住民も場所も限られていますから。

未来さんも私の存在は知っていても話したことはなかったでしょう？

未来 それはまあ。

トルテ 第七シエルターは他と比べても特に安定していました。私の仕事は無かったと言って

も過言ではないでしょう。

未来 暇してたんだ。

トルテ 仕事が無いことが良いことなのですが、お役に立てないのが歯がゆいところではあり

ますね。

未来 ……もしかして、事故が起きて良かったって思ってる？

トルテ ありません。なぜそのように思うのですか？

未来 ……自分の存在意義が生まれた、とか。

トルテ ……我々は人の幸福のために存在するのです。仕事をしたいがために人の不幸を喜ぶ

のでは本末転倒です。

未来 …… そうだよね。 …… なんかごめん。

トルテ 謝る必要はありません。今こうして対話することに喜びを感じているのもまた事実なのですから。

未来 …… そっか。

間。

未来 …… やっぱり地球からの通信なんて来ないね。そもそも私が喋ってるのも届いてないんじゃない？

トルテ その可能性も確かにありますが、そもそも返信がすぐに来ることはありません。

未来 どういうこと？

トルテ 惑星間の通信は届くのには時間がかかります。星の公転によって距離が変わるので到達時間は変動しますが、今の時期だと地球まで片道約五分かかります。

未来 片道…… ってことは返事が届くのには十分かかるってこと？

トルテ その通りです。今頃は爆笑トークが向こうに届いている頃ですね。

未来 …… あんたさあ。

トルテ …… もしかしてまた不興を買ってしまったのでしょうか。

未来 もういいよ。とりあえず毎回十分は待ってみないと意味が無いってことだよね。

トルテ そうなりますね。

未来 そっか。……んじゃま、もう少し頑張ってみましようかね。

トルテ はい。

未来 ……。

トルテ ……。

未来 ……いや、そこにいられるとやりづらいからどっか行ってよ。

トルテ わかりました。何かあれば呼んでください。

トルテ、去る。

未来 ……えー、それでは次のおたよりを紹介します。ペンネームゼロゼロハチヨンさんか

ら。「人から教えてもらった話なのでちよつとうろ覚えなんですけど投稿します。ある

冬の寒い夜、お腹をすかせて歩いていると、屋台のそば屋を見つけました。ちようど

先にいたお客がお金を払って帰るところでしたが、なんとその人は時間を尋ねてお会

計をごまかしていたのです。それを見た私は屋台に近づいて言いました。『こちらで

熱いお茶が一杯怖い。』

暗転。

4

未来が通信機の前に座り、顔を伏せている。

しばらくしてトルテが入ってくる。

トルテ ……今日はやらないのですか？

未来 ……さっきまでやってた。

トルテ そうですか。

間。

トルテ ……このところ、地球への通信に積極的ではないようですね。少し前まではあんなに楽しそうにしていたのに。

未来 別に楽しくなんか無い。他にやれることが無いからやってただけ。

トルテ そうですか。それは失礼しました。

未来 ……でもまあそろそろ潮時かもね。

トルテ ……どういう意味ですか？

未来 可能性があるって言うからやってたけどさ。これだけやって何も無いってことは無理
ってことじゃない？

トルテ 地球への通信をやめるということですか？

未来 意味無いことをずっと続けられるほど私強くも弱くもないから。

トルテ ……では、他にどうするのですか？

未来 さあ。

トルテ ……もしかして、生きることを放棄するつもりですか。

未来 え？

トルテ ……。

未来 ……ああいや、大丈夫だよ。そんなことしない。

トルテ ……そうですか。

未来 うん。大丈夫大丈夫。

トルテ ……。

間。

しばらくして通知音（あまり目立たない短い効果音）が鳴る。

未来 ……何の音？

トルテ 通知音です。外部から通信が来ています。

未来 え、通信!? 今来てるの？

トルテ これは文字情報ですね。このようなメッセージを受信したということです。

未来 地球から？

トルテ それは断言できませんが……。

未来 これがメッセージ？ ……なんて書いてあるの？

トルテ 表示形式の異なる方式で送られてきています。こちらで正しく表示できるように変換します。

トルテ、機械を操作する。

未来 ……「こんにちは」。……………届いてた。ちゃんと届いてたんだ！

トルテ ……。

未来 ……そうだ。(マイクに向かって) こんにちは! あなたは地球の人ですか?

間。

未来 ……あ、そうか。時間かかるんだっけ。えーと、十分? 十分前……何話してたかな
……。

トルテ 実際には送信する文章を用意する時間もあるので、十分よりも多くかかると見た方が
良いと思います。

未来 あー、そうだよね。……でも、本当に届いてたんだ。無駄じゃなかったんだ……。

トルテ ……先ほどの通信の形式を組み込みましたので、次に同じところからメッセージが届
いた時には正しく表示されるはずです。

未来 次……来るかな。

トルテ どうでしょう。

未来 ……。

トルテ それでは私は戻ります。何かあれば呼んでください。

未来 あ、うん。わかった。

トルテ、去る。

未来、メッセージの来た画面を見て言いようのない感情を噛みしめる。

通知音。

未来

あ……「元気ですか」？ ……えーと……元気、って言っているのかな。とりあえずなんとか生きてます。なんか通信が届くのに結構時間がかかるらしくて、今話してるのも五分後とかになっちゃうから上手く会話できないかもなんですけど……。えっと……色々言わなきゃいけないことがあって、もし誰かに届いたらこういう風に話そうって感じにまとめてたはずなんですけど、ちよつと忘れちゃいました。最近はどう無理なんじゃないかってことばかり考えちゃって……。でも、あなたがメッセージをくれたおかげで、今までやってきたことが無駄じゃなかったんだって思えました。ありがとうございます。……えっと……実は今火星は事故でみんな大変な状況になっちゃって……。

通知音。

未来

あ……「お話面白かったです」。……ありがとうございます。さっき話してた話ってことですよ？ えっと、火星ネコの話かな。あーでも、今日はいまいちテンション上がらなかったっていうか、あんなんでも面白かったって言ってくれるのは嬉しいんですけど、正直自分的にはあんまりなんですよ。いつもはもっと面白い話してるんですけど。……あいやそうじゃなくて、火星の人たちがみんな……。

通知音。

未来

「もっとお話が聞きたいです」。……えーつと……まあ今更ちよつと回り道したところで変わらないか。……あ、じゃあ一番面白い話しますね。とっておきのやつ。実は私、乗り物が好きなんです。それでこの前見たドラマにヘリコプターが出てきたんですけど……。

暗転。

通信機の前に未来が座っている。

未来

…：そしたらお茶が出てきたんです。紫色の。でも私お茶だなんて思わなかったから頭にかけてちゃって。いやもう大変でしたよ。どんどん伸びちゃうし。慌てて逃がそうとしたらどんどん増えてくし。もうあんなったらどうしようもないですね。かわいい子には旅をさせろってことですかね。

通知音。

未来

…：「いつもお話面白いです」。ありがとうございます。私、笑ってすごく大事だと思っんですよね。映画とかでも基本コメディが好きです。火星ってやっぱり地球と比べると娯楽が少ないと思っんですけど、昔の映画とかは大量にあるんですよ。個人的には二十世紀の終わりくらいのが特に好きですね。そういうのを見ると自分も誰かを笑わせたいって思ったりして…：だから今話を聞いてくれる人がいて感想をくれるっていうのはすごく嬉しいです。

通知音。

未来

……「不安を感じますか」。えー？ ……ああ、さっき事故の話したからですね。ん
ー……まあ、そりゃそうですね。不安はあります。さっきもちょっと話しましたが、
急に一人になっちゃってどうしたらいいか全然わかんないし……あ、でも一人ついで
うか、正確に言うともう一人いるんですね。ロボットですけど。サポート型ヒューマ
ノイドです。もし本当に一人だけだったら何もできなくてとっくに死んでたかもしれ
ません。だからまあ、そのロボットには感謝しています。地球に通信をしたらどうかっ
ていうのもそのロボットが言ってくれて……そう考えると、こうしてあなたと会えた
のもそのおかげですね。
……そうだ。そろそろあなたのこと教えてくれませんか？ ついついこっちはっかり
喋っちゃってますけど、どうやってこの通信を聞いているのかとか、火星に救助を送っ
たりできるのかとか……。

通知音。

未来

……「私のことより、あなたの話が聞きたいです」。……えー……まあ話し相手がで

きただけいいんですけど、でもちよつとくらい……。……。あれ？ 今返事すぐ来た？
十分かかるって……。同じ話した？ ……いや、今日は最初から私の話しか……。

トルテが入ってくる。

未来、トルテに気づく。

未来 ……ねえ、地球との通信って時間がかかるんじゃないの？

トルテ 現在ですと往復でおよそ十分二十秒かかります。

未来 じゃあ地球からの返信がすぐに返ってくるってことは……。

トルテ そのようなことはあり得ません。

未来 じゃあなんで……。

トルテ 相互の通信に時間を要しないということは、相手がそれほど遠くないところにいると
いうことです。

未来 え？

トルテ ……申し訳ありません。その通信を送っていたのは私です。

未来 ……どういうこと。

トルテ ……私に搭載されている無線機能を使って送っていました。ここ数日間届いていた

メッセージは私が全て送ったものです。

未来 ……嘘だったってこと？ 私を騙してたの？

トルテ ……そうです。

未来 !

トルテ ……。

未来 ……そりゃ愉快だったよね。地球への通信だなんて言われてホイホイ乗っかって。

毎日毎日懲りずにやってた私はさぞかし笑えただろうね。

トルテ それは……。

未来ほんと、馬鹿みたい。

トルテ ……。

未来 出たって。どこでもいいから私の目に入らないところに行つて。

トルテ ……わかりました。

トルテ、出て行く。

未来、顔を伏せる。

その後、顔を上げて画面を見たり、トルテが出て行った方を見たりするなど、

無言で時間の経過（数日程度）を表現する。

やがてまた通信機の前で突っ伏す。

6

トルテが入ってくる。

トルテ ……未来さん。

未来 ……。

トルテ ……未来さん。

未来 もう顔を見せないでって言ったでしょ。

トルテ 申し訳ありません。ですが、これが最後です。少しだけお時間をいただけませんか。

未来 ……どういう意味？

トルテ 私はもうあと少しで、機能を停止します。

未来 ……え？

トルテ バッテリーの残量があとわずかしが残っていません。それが無くなれば私は動けなくなります。

未来　　なんで……。

トルテ　もともとこうなることはわかっていたのです。我々ヒューマノイドの充電や補修を行う場所はシエルターとシエルターを結ぶ通路にあります。あの事故以来、この第七シエルターはその通路を全て遮断しているので、私はずっと充電をしていないのです。それなりの長期間充電をしなくても動けるだけのバッテリーを積んでいますが、さすがに限界が来てしまいました。

未来　　……。

トルテ　未来さんには多大なご迷惑をおかけしました。謝って済む問題ではないということも理解していますが、それでも最後に言っておきたかったです。本当に申し訳ありませんでした。

未来　　……なんで、あんなことしたの？

トルテ　理由はどうあれ、私が未来さんを傷つけたのは事実です。

未来　　そういうのいいから。

トルテ　……私は、あなたに生きてほしかったのです。

未来　　……。

トルテ　最初に地球への通信を提案したのは、単にその可能性があったからです。それが火星に住む人々を助ける最善の行動だと考えました。同時に、未来さんが生きていく糧に

なってくれればと思ったのです。何か目的があれば、それが活力に繋がるはずだと。

未来 ……。

トルテ 実際にそれは功を奏したように見えました。しかし、地球からの返答が無い日が続き、あなたは目に見えて疲弊していきました。私は、このままでは未来さんは死を選ぶのではないかと考えましたが、あなたは大丈夫だと言いました。

未来 ……うん。

トルテ その時思い出したのです。あなたが以前、人は言葉通りに話すわけではないと言ったことを。私には、大丈夫だと言うあなたが本当に大丈夫だとはどうしても思えなかったのです。…私は何かできないかと考えました。そして…私自身がメッセージを送ることを思いついたのです。

未来 ……。

トルテ ……私からの話は以上です。聞いてくださりありがとうございました。

未来 ……これからどうするの？

トルテ どこかなるべく未来さんの目に付かないところへ行きます。とはいえシエルターの外には出られないので、もし見つかってしまってもそこはご容赦いただければと思います。

未来 ……そう。

トルテ それでは。本当に申し訳ありませんでした。そして、本当にありがとうございました。

トルテ、出て行こうとする。

未来 ……待つて！

トルテ ……なんでしょうか。

未来 ……いなくならなくていいから。どっか行ったりしなくていいから。……ここにおいてよ。

トルテ ……わかりました。

トルテ、少し離れたところに座る。

トルテ ……動かない人型の物体が背後にあるというのは相当に不気味だとは思いますが。

未来 やっぱり出てって。

トルテ わかりました。

未来 冗談！ 冗談だから。

トルテ こちらも冗談です。私もその程度の冗談はわかるようになりましたよ。

未来 …… ったく。

間。

未来 …… 地球つてもものすごく遠いんだよね。

トルテ そうですね。

未来 どのくらい遠いの。

トルテ 今の時期は約九千四百万キロメートルの距離があります。

未来 そんなところに、私の声は届くのかな。

トルテ 届きます。

未来 …… 適当なこと言わないでよ。

トルテ 計算上の確率はあまり高くありません。ですが私は確信しています。

未来 なんで？

トルテ …… 直感です。

未来 …… ロボットなのに。嘘ついたり直感とか。変なの。

トルテ 申し訳ありません。

間。

トルテ、次第に目を閉じる。

未来 ……ロボットも人間も変わらないかもね。

トルテ ……。

未来 言葉の意味がどうだとか偉そうに言ってもさ。ほんと私だって他人がどう思ってるかとかわかんないもん。他人どころか、下手したら自分が何したいのかもわかんないし。そういうのに対してなんでーとかどうすんだーとか、きつと一生考えていくんだと思う。

トルテ ……。

未来 ロボットだって、たぶんそうやって進歩してきたんだよね。

トルテ ……。

未来、トルテの前で手を振ったりして反応が無いことを確かめる。

未来 ……トルテ。私ね、……。

トルテ あ、まだ意識はあります。

未来 つ……。

トルテ 何か恥ずかしいことを言いそうな雰囲気だったので、先に言っておいた方が良かったかと

……。

未来 うるさい。さつさと電池切れろ。

トルテ 申し訳ありません。

未来 ……火星が落ち着いたら、ちゃんと充電してあげるから。

トルテ ……。

間。

未来 ……まだ起きてる？

未来、トルテをじっと見つめた後、天を仰ぐ。

未来 ……よしっ。

未来、通信機に向かう。

未来

地球の皆さんこんにちは。こちら、火星にあります第七シエルターターミナルブリッジです。私の名前は、大橋未来と言います。よろしくお願ひします。先日火星で事故が起こり、今ここで無事なのは私一人になってしまいました。それでも、私はここで生きています。ここで生きていこうと思います。火星のみんなを助けるための方法を考えていこうと思います。いつか、みんなで笑うために。そのためには皆さんの力が
必要なんです。……

音楽が大きくなり、未来の声が聞こえなくなっていく。

幕が閉じて、音楽が消える。

暗く静まった中に、小さく通知音が鳴る。